

ウスイロヤマブキソウ(新品種)

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-12-05 キーワード: 作成者: 守屋, 忠之, Moriya, Tadayuki メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00056396

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



(2) *Aucuba* type and (3) intermediate type.

Literature

Atusi YAMAURA: On the identification of the sexes, relationship and of age in the organisms by che-

mical reaction. Jap. Jour. Genet. **24**: 112-113. 1949.

————— : On the identification of the sexuality in *Ginkgo biloba* L. JABE (日本生物教育会) **33** (松江) 20 1978.

○ ウスイロヤマブキソウ (新品種) (守屋忠之) T. MORIYA: A New Forma of *Chelidonium japonicum*

石灰岩採掘のため日に日に変容をつづける秩父武甲山の西麓を流れて荒川本流にそそぐ橋立川の上流域のシオジ、オニグルミを主とする秩父市水源かん養林の林床の一部とスギ林縁にはオオメシダ、ジュウモンジシダ、イッポンワラビ、クサソテツ、オオヤマカタバミ、シコクスミレ、エイザンスミレ、トウゴクサバノオ、ハシリドコロ、ミヤマキケマン、ミヤマエンレイソウ、ウメウツギ、アカヤシオ等早春の植物とともにヤマブキソウ、ホソバヤマブキソウ、セリバヤマブキソウの群落が点在する。ヤマブキソウ群落のなかにヤマブキソウの黄色花に対し淡い黄色花をつける一団がみられる。この個体に対して写真集武甲山の植物刊行の際ウスイロヤマブキソウと仮称し写真集のカラーページに加えておいたが(1979)、ここに学名を付しヤマブキソウの品種として報告する。

Chelidonium japonicum THUNB. form. *palliflavum* MORIYA form. nov.

Flores palliflavi

Nom. Jap. Usuiro-Yamabukiso

Hab. Honshu: Okuhashidate, Chichibu-shi, Saitama Pref. (T. MORIYA; May 5, 1979; type specimen No. 375957 in TNS)



○ 池沼植物の生態と観察 浜島繁隆著 B 6 版, ニュー・サイエンス社発行 (昭和54年9月15日), 定価650円。

書名は、上記のようになっているが、項目はため池とその種類・ため池の環境と水草・ため池の植生・ため池の植生調査法というようなもので、灌漑用水確保のためにつくられた、ため池に限られているようだ。

著者は全国に20万もあるため池が、近年地域開発のために都市近郊では埋め立てられたり、汚水の流入で富栄養化してゆくことに思いを致し、ため池に生育する水草を通じて、ため池本来の姿や変貌するため池の実態を概観し、それと同時にそこに生活する水草の特性を明らかにしてみたいということで、この著述を志したという。 (里見信生)